

2022 年（令和 4 年）7 月 22 日
逗子市教育委員会

国登録有形文化財(建造物)に係る答申について

「旧本多家住宅主屋」が、国登録有形文化財に登録へ

●国の文化審議会が文部科学大臣に答申

国の文化審議会（会長：佐藤 信^{さとう まこと}）は、7 月 22 日（金曜日）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、逗子市山の根^{きゅうほんだけじゅうたく}に所在する「旧本多家住宅」を登録有形文化財（建造物）に登録するよう文部科学大臣に対して答申しました。

●対象物件の概要は

国登録有形文化財（建造物）へ登録を答申されたのは、「旧本多家住宅主屋^{おもや}」の 1 件です。この建物は J R 逗子駅近くの山裾に建つ洋風住宅で、昭和初期に建築家久米権九郎^{くめごんくろう}が考案した「久米式耐震木骨構造^{もっこつ}」と呼ばれる独自の耐震構造が特徴です。この構造を用いて建てられた作品の現存事例は極めて少なく、内外観の意匠も含めて貴重である点が評価されました。

●国登録有形文化財(建造物)とは

「文化財登録制度」は、開発や生活様式の変化等により、文化財としての評価を受けるまもなく消滅の危機に晒されている多種多様な近代等の文化財建造物を、後世に幅広く継承していくために作られた制度です。

現状変更等を厳しく制限される「文化財指定制度」とは異なり、届出をすれば改築等も可能な、緩やかな保護措置が特徴です。

●逗子市内の登録件数は

市内の国登録有形文化財（建造物）は、「長島孝一家住宅主屋^{ながしまこういち}」（新宿）、「旧脇村家住宅主屋^{わきむら}」（桜山）に加え、昨年「旧正力家別邸主屋・蔵・表門^{しょうりき}」（新宿）、「須藤家住宅主屋・旧ボイラー一室^{すどう}」（新宿）が登録されました。今回の答申のとおり告示されると、累計で 8 件（5 箇所）になります。

※ 本件につきましては、国（文化庁）のほか、神奈川県においても同時に発表されます。

【付属資料】

答申された物件の概要

本件に関するお問い合わせ先

教育部 社会教育課 佐藤仁彦・吉田麻子

電話：046-872-8153（直通）

【付属資料】
答申された物件の概要

きゅうほんだけじゅうたくおもや
旧本多家住宅主屋

所在地 逗子市^{やま}山の根^ね

所有者 株式会社久米^{くめ}設計

建築年代 昭和 13 年

数量 1 件（1 箇所）

特徴等 J R 逗子駅近くの山裾に建つ洋風住宅。

外観はモルタル仕上げ^{おおかべ}大壁^{おおかべ}で、開口部廻りに擬石^{ぎせき}をあしらい、バルコニー^{こし}腰壁^{かべ}にメダリオンを飾る。正面西にポーチと玄関、東に吹抜けの居間を配す。
久米^{くめ}権九郎^{ごんくろう}の設計で、東^{たば}ね式^ねの小柱^{こばしら}と横架材^{おうかざい}を用いた独自の耐震木骨構造^{もっこつ}による。

基準 登録有形文化財登録基準 3 号該当（再現することが容易でないもの）



写真①



写真②